

笛吹市環境基本計画 平成 25 年度取り組み進捗状況について

■笛吹市環境基本計画とは…

笛吹市環境基本計画は、笛吹市の自然を次世代へと受け継ぎ、幅広い環境問題に対応していくため、市民・事業者・行政などすべての主体が連携し、総合的かつ計画的に取り組を進めていくための具体的な目標や期間を定めたもので、市の環境に関する取り組みについて最も基本となる計画です。計画期間は平成 23 年度から 32 年度までの 10 年間で、笛吹市が目指す環境像「清流と緑の大地 桃源郷 未来につなぐ 笛吹市」の実現を目指しています。

■平成 25 年度取り組み進捗状況について…

環境像実現のために環境目標と施策が定められており、取り組み進捗状況を毎年度公表することとなっています。進捗状況の点検・評価については、定量的な指標として設定されている「環境指標」の「基準値（計画策定時の現状値）」と「平成 25 年度の現状値」を比較して行いました。平成 25 年度取り組み進捗状況については別表のとおりです。

【別表の見方】

①環境指標の種類

- 成果指標・・・目標への到達度を表す指標
- 取り組み指標・・・目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標
- △モニタリング指標・・・経年変化を把握するための指標（目標設定なし）

②進捗状況の見方

- ・・・基準値より現状値が上がった・目標に近づいた
- ▲・・・基準値より現状値が下がった
- ・・・基準値維持
- 空欄・・・H25 数値なし

③コメント欄

主な環境指標について、担当課のコメントを記載しています。

全体の結果は次のとおりです。

平成 25 年度は環境基本計画の取り組み 3 年目となり、現状値が上がった・目標に近づいた環境指標は 157 項目中 64 項目で全体の 41%となり、平成 24 年度実績の 58 項目（37%）より上回りました。

- （現状値が上がった・目標に近づいた指標）・・・64 項目
- ▲（現状値が下がった指標）・・・52 項目
- （基準値維持の指標）・・・29 項目
- 空欄（現状値なしの指標）・・・12 項目

笛吹市環境基本計画 平成25年度取り組み進捗状況

●：成果指標 目標への到達度を表す指標
 ○：取り組み指標 目標達成に向けた取り組みの進捗状況を表す指標
 △：モニタリング指標 継続的に数値をモニタリングし、状況の経年変化を把握する指

進捗状況の見方(基準値と現状値の比較)
 ○ 数値が上がった
 ▲ 数値が下がった
 → 基準値維持
 空欄 H25数値なし

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状(H25)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント		
豊かな自然を守り動植物と共生するまち	1-1 農地・果樹園	「農地や土との親しみやすさ」に満足している市民の割合	●	%	59.1	—	65		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	農用地面積については農振除外申請を適正に行なっていく。 農業学習会、セミナーは農家以外の一般者や女性の参加者が増加した。エコファーマーはJAでも普及促進したことにより認定者が増加した。また認定農業者への支援補助が充実したことにより認定農業者が増加したと思われる。	
		農用地面積	●	ha	3,587	3,531	3,587	▲			
	耕作放棄地の面積	●	ha	171	169	140	○				
	1-2 森林	農地パトロール実施回数	○	回	1	1	2	→			バイオマスセンター建設事業中止 市民農園の面積減少は、農園が1箇所閉鎖となった為 学校給食では牛乳・米は県産を使用している。県内及び市内の食材を献立に積極的に取り入れ「地産地消」に取り組んでいる。
		新しく耕作を始めた人数、耕作希望者数	○	人	38	40	40	○			
		学校給食において地元農産物を使用する割合	○	%	12	14	15	○			
		バイオマス資源としての果樹剪定枝等の回収量	○	t	—	—	851				
		農業体験・交流イベント開催数	△	回	2	1	—	▲			
		参加者数	△	人	100	104	—	○			
		農業学習会、セミナーの開催回数	△	回	20	27	—	○			
		参加者数	△	人	600	964	—	○			
		市民農園の面積	△	m ²	9,412	5,525	—	▲			
		エコファーマー認定者数	△	人	1,873	2,669	—	○			
		認定農業者数	△	人	526	628	—	○			
	1-2 森林	「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	●	%	77.3	—	85		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	林野面積や民有林に関して適正な林地管理に努めている。	
		林野面積	●	ha	11,836	11,819	11,836	▲			
		林業体験の実施学校数	○	校	9	0	10	▲			
		参加生徒数	○	人	255	0	300	▲			
		森林体験の実施回数	△	回	3	1	—	▲			
		参加者数	△	人	200	120	—	▲			
		森林施業計画認定面積	△	ha	1,945.69	1,961.98	—	○			
		森林保全整備事業実施面積(累計)	△	ha	323	323	—	→			
		間伐面積(累計)	△	ha	233.61	280.58	—	○			
		植樹面積(累計)	△	ha	57.22	67.23	—	○			
		林野面積のうち民有林面積	△	ha	7,380.92	7,035.85	—	▲			
	保安林面積(水源かん養保安林)	△	ha	5,942.18	6,189.00	—	○				
	1-3 河川・水辺	「水や水辺との親しみやすさ」に満足している市民の割合	●	%	40.2	—	45		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	各種団体からボランティア収集等の申し込みがあった場合、アダプトへの登録を進めていきたい。	
		多自然工法を導入した事業件数	○	件	2	0	1	▲			
		アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備)	○	団体	3	3	5	→			
		登録人数	○	人	77	93	97	○			
	1-4 動植物・生態系	河川の清掃活動実施回数	△	回	2	4	—	○		河川の清掃は土手や河川内の雑草除去・伐木を行い河川美化に努めている。 年々猪や鹿による農作物被害が増加しているため、野生生物と人間の活動エリアを区分する方策を引き続き検討していく。また野生生物については適正な保護を行う。 一宮町のキンモクセイ、境川町のタラヨウが枯れた為天然記念物が指定解除となった。	
		参加人数	△	人	200	696	—	○			
		特定外来種に関する広報回数	○	回	0	0	1	→			
		鳥獣保護区の指定数	△	箇所	2	2	—	→			
		面積	△	ha	15.49	15.49	—	→			
自然環境保全地域の指定数		△	箇所	4	4	—	→				
面積		△	ha	30.63	30.63	—	→				
動植物に関する天然記念物の件数(県)		△	件	8	7	—	▲				
(市)		△	件	35	33	—	▲				
けがや病気の野生生物の保護件数		△	件	6	1	—	○				
野生動物の食害等による被害件数(苦情件数)		△	件	27	33	—	▲				
農作物被害防止に向けた有害鳥獣駆除実施回数	△	回	27	33	—	▲					
駆除数	△	頭	627	826	—	▲					
観察・発見された特定外来種の個体数	△	頭	2	0	—	▲					
1-5 自然とのふれあい	「生き物とのふれあいやすさ」に満足している市民の割合	●	%	45.6	—	50		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	特になし		
	自然観察会等のイベント開催数	○	回	0	0	1	→				

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状(H25)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント	
健康で安らぎのあるまち	2-1 大気環境	「空気のきれいさ(車の排気ガス、悪臭等)」に満足している市民の割合	●	%	58.1	—	63		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	廃プラスチック等の適正分別について、地区への指導を徹底していく。また広報誌での周知、各種イベントへの参加や店頭キャンペーンを行い周知徹底していきたい。 野焼き、悪臭への苦情は原因者に適切な指導を行っていく。また広報周知等により理解促進を図り苦情の減少に努めたい。
		廃プラスチック等の回収量	○	t	271	259	275	▲		
		廃プラスチック等の適正処理周知、指導回数	○	回	86	27	90	▲		
		大気汚染に係る測定結果(NOx年平均値)	△	ppm	0.022	0.018	—	○		
		〃 (SPM年平均値)	△	mg/m ³	0.013	0.020	—	▲		
		畜産農家に対する悪臭の指導回数	△	回	1	1	—	→		
		工場・事務所における悪臭の指導回数	△	回	3	2	—	○		
		「野焼き」に関する苦情件数	△	件	63	58	—	○		
	「悪臭」に関する苦情件数	△	件	35	26	—	○			
	2-2 水・土壌環境	「水のきれいさ(河川・水路や池沼等)」に満足している市民の割合	●	%	34.2	—	42		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	公共下水道の整備に伴い下水道処理人口及び生活排水処理率は増加している。 河川への油流出により工場や事業者に対しての指導を行った。情報を受けた際は被害を最小限に抑えるよう現場対応を迅速に行い原因者への指導を徹底していく。
		笛吹川のBOD平均値(直近3カ年)	●	mg/l	1.03	1.31	1	▲		
		水質基準達成項目比率	●	%	84	79.1	88	▲		
		地下水に係る環境基準の達成地点の割合(井戸水)	●	%	85.4	85.5	90	○		
		生活排水処理率	○	%	70.5	74.3	76.4	○		
		公共下水道処理人口	○	人	41,440	43,167	44,440	○		
		公共下水道処理人口普及率	○	%	58	60.6	65	○		
		合併浄化槽設置済人口	○	人	7,831	9,296	9,931	○		
農業集落排水処理人口		○	人	515	416	510	○			
生活道路・水路の整備に関する市民満足度		△	%	55.7	45.6	—	▲			
地下水に係る環境基準の達成地点の割合(上水道用)		△	%	100	100	—	→			
広報紙による啓発		△	回	4	4	—	→			
工場や事業者に対する指導回数	△	回/年	7	11	—	▲				
健康で安らぎのあるまち	2-3 廃棄物	「日常生活から発生する、ごみの処理のされ方」に満足している市民の割合	●	%	51.4	—	53		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	生活系ごみの収集量は年々減少傾向にある。分別への意識が浸透してきたか地区から説明会の要請が少なかった。生活系可燃ごみの排出量削減への取り組みとして「5R」を推奨しているが引き続き地区説明会や店頭キャンペーンの実施、広報誌等を通して削減に向けた取り組みを行ってきたい。 転入してきた住民に対しごみ収集カレンダーを配布し分別指導を行っている。 廃食油は、一般家庭や市立保育所、学校給食調理場等から回収し一部のゴミ収集車のバイオディーゼル燃料として利用している。今後は他の活用方法も検討していきたい。
		1人1日当たりのごみ排出量(生活系ごみ)	●	g/人・日	667.5	663.8	600	○		
		〃 (事業系ごみ)	●	g/人・日	315.7	284.9	300	○		
		ごみ総排出量	●	t	25,849	24,630	25,000	○		
		生活系可燃ごみの減量率(対基準年度:H16年度)	●	%	29	30	53	○		
		リサイクル率	●	%	21	19	25	▲		
		容器包装廃棄物分別収集量	●	t	271	259	275	▲		
		古紙分別収集量(新聞・雑誌・ダンボール・ミックス紙)	●	t	2,912	1,946	2,950	▲		
		資源物の混入量(可燃)	●	t	7,755	7,635	7,700	○		
		〃 (不燃)	●	t	1,290	714	1,200	○		
		「買い物の際のレジ袋利用抑制」にいつも取り組んでいる市民の割合	○	%	85	84	88	▲		
		資源物回収奨励金登録団体数	○	団体	132	132	135	→		
		資源物回収奨励金登録団体の資源物回収量	○	kg	3,076,639	2,528,204	3,138,172	▲		
		生ごみ処理機購入助成件数	○	件	196	54	200	▲		
		一般廃棄物許可業者説明会開催数	○	回	0	0	3	→		
		廃食油回収量(市で回収したもの)	○	ℓ	12,255	11,088.6	12,700	▲		
	廃食油からの年間バイオディーゼル燃料(BDF)精製量	○	ℓ	9,300	11,000	11,400	○			
	ごみ減量化・資源化の意識啓発イベント開催回数	○	回	86	27	90	▲			
	廃棄物処理施設・現場見学会開催回数	○	回	0	0	1	→			
	〃 参加人数	○	人	0	0	20	→			
	ごみ収集カレンダー配布数(累計)	△	枚	31,000	39,000	—	○			
	2-4 身近な生活環境	「まちの静けさ(騒音や振動)」に満足している市民の割合	●	%	60.5	—	67		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	騒音測定における環境基準の達成地点の割合も上昇し、騒音・振動による苦情件数は減少したが、平穏な暮らしの維持ができるよう原因者には適切な指導を行っていく。
		騒音測定における環境基準の達成地点の割合	●	%	92.3	99.3	96	○		
「騒音・振動」に関する苦情件数		△	件	14	10	—	○			
工場や深夜営業店舗等に対する指導回数		△	回/年	5	1	—	○			

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状(H25)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント
るので まあ趣	3-1 公園・緑地	市民一人当たりの緑地面積	●	m ²	8.6	8.8	8.85	○	八代ふるさと公園を拡張したことにより市民一人当たりの緑地面積及び都市公園面積が増加した。
		公園・緑地数	●	箇所	19	19	20	→	
	都市公園数	●	箇所	6	7	7	○	公共施設における緑のカーテンは、庁舎、小中学校、保育所、消防署等で実施し、緑化促進と夏の節電対策に取り組んだ。	
	校庭芝生化に取り組む学校数	○	校	0	0	10	→		
	公共施設における緑のカーテン実施数	○	箇所	3	38	22	○		
	身近に自然とふれあうことができると感じている市民の割合	△	%	70.7	68.3	—	▲		
	公園を利用している市民の割合(H22～)	△	%	35.9	38.9	—	○		
	都市公園面積	△	ha	37.25	38.68	—	○		
	3-2 歴史・ 文化的環境	市の文化遺産や地域の文化に触れたことがある市民の割合	●	%	43.9	45.2	44	○	文化財を活用したイベントは、やまなし国民文化祭のイベントとして市内4箇所で史跡巡りを実施、県内外からの参加者が多かった。
		文化財を活用したイベントの開催数	○	回	3	4	3	○	
		参加者数	○	人	230	684	280	○	市の指定文化財である一宮町のキンモクセイ、境川町のタラヨウが枯れたため指定解除した。
		文化施設(郷土館等)を活用した企画展・特別展・イベント参加者数	○	人	7,635	5,892	5,200	▲	
		開催数	△	回	8	8	—	→	
		伝統芸能継承団体数	△	団体	11	11	—	→	
		登録文化財数	△	件	3	4	—	○	
	指定文化財数	△	件	218	213	—	▲		
	3-3 郷土景観	うち国指定文化財数	△	件	15	12	—	▲	
		うち県指定文化財数	△	件	66	64	—	▲	
	3-4 まち美化、 暮らしのマナー・モラル	うち市指定文化財数	△	件	138	137	—	▲	石和温泉駅北口新設道路に電線共同溝(電気、NTT,CATV)を敷設予定
		「木々の緑の豊かさ」に満足している市民の割合	●	%	77.3	—	85	H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	
		電線類地中化の整備延長	△	m	2,779.3	3,702.5	—	○	H27にアンケート実施予定のためH25数値なし 不法投棄対策として市内巡回し監視パトロールを実施しているため不法投棄の処理件数は減少傾向にある。広報誌やチラシ、出前環境教育を通じ更なるモラル向上に努めていきたい。粗大ごみで回収しない家電対象製品やタイヤ・バッテリーの不法投棄を未然防止するため特別回収を行っていく。 空き地に繁茂した雑草に関する苦情は増加傾向にある為、土地所有者に適正管理を行ってもらうよう指導していく。指導の方法も検討していきたい。
		「まちの清潔さ・きれいさ(ごみの散乱など)」に満足している市民の割合	●	%	40.7	—	45	H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	
		公害や不法投棄がなく衛生的に生活できると答えた市民の割合	●	%	49.3	51.7	55	○	
アダプトプログラム登録団体数(水空間の整備含む)		○	団体	19	12	20	▲		
登録人数		○	人	581	418	700	▲		
清掃活動の参加者数		○	人	1,830	1,850	2,000	○		
意識啓発イベントの開催回数		○	回	86	27	90	▲		
参加者数		○	人	2,650	800	2,700	▲		
花の苗配布団体数		○	団体	61	63	85	○		
パトロール実施日数		△	日	240	240	—	→	不法投棄パトロール員1名	
不法投棄の発見報告件数		△	件	290	184	—	○		
不法投棄物処理件数		△	件	287	176	—	○		
「不法投棄」に関する苦情件数		△	件	18	7	—	○		
「空き地や耕作放棄地の雑草」に関する苦情件数	△	件	46	64	—	▲			
空地等の管理人に対する指導件数	△	回	39	61	—	▲			
啓発看板の配布件数	△	件	35	147	—	▲			
地球環境の 保全に貢献する まち	4-1 地球温暖化	市営バスの利用者数	●	人	28,668	26,617	30,101	▲	市営バスの利用状況を検証し、平成26年度「一宮巡回バス」、平成27年度「境川巡回バス」の運行ルート等を見直す予定であり、利用者のニーズに即した運用を行っていく。
		住宅用太陽光発電システム補助金交付件数(累計)	○	件	253	1,522	553	○	
	地球環境の 保全に貢献する まち	環境家計簿提出件数	○	件	47	44	52	▲	公用車の更新時には低公害・低燃費のエコカー導入を率先して行っている。今後電気自動車を導入予定であり環境への負荷軽減を図っていきたい。
		LED照明導入小中学校数	○	校	0	0	10	→	
		デマンド交通の利用者数	○	人	3,600	6,887	8,940	○	
		公用車へのエコカーの導入台数	○	台	42	90	67	○	
		環境学習の一環として簡易測定を実施している小中学校数	○	校	6	8	10	○	
		幹線道路網が整備され移動しやすいまちだと感じている市民の割合	△	%	54.3	41.5	—	▲	
		鉄道やバスが利用しやすいまちだと感じている市民の割合	△	%	19.9	14.6	—	▲	
		JR石和温泉駅1日当り乗・降者数	△	人	5,338	5,596	—	○	
		一宮・御坂インターチェンジ1日当り乗・降台数	△	台	8,300	8,591	—	○	
		地球温暖化対策に関わるキャンペーン実施回数	△	回	1	1	—	→	

環境目標	環境要素	環境指標	単位	基準	現状(H25)	中間目標(H27)	進捗状況	備考	コメント	
自ら動き環境保全に取り組みまわす	5-1 環境教育・環境学習	「学校や地域社会における環境教育の質・量」に満足している市民の割合	●	%	43.4	—	46		H27にアンケート実施予定のためH25数値なし	環境教室を希望した小学校3校において「やまなしエコティーチャー」による移動環境教室を開催、今後市内小学校を順次巡回し学習機会を増やしていきたい。また市立図書館とコラボし、新聞紙を利用したエコバック作りを開催した。
		みどりの少年少女隊組織数	●	団体	9	9	10	→		
		環境学習イベント開催数(子ども環境教室、環境ポスター展)	○	回	2	6	4	○		
		やまなしエコティーチャーによる出前講座開催小中学校数(累計)	○	校	2	6	10	○		
		環境年次報告書の公表回数	○	回	0	1	1	○		
		環境関連図書数(学校)	○	冊	3,521	3,521	3,540	→		
		〃(市立)	△	冊	2,125	2,106	—	▲		
	河川環境および林業体験実施回数	△	回	3	1	—	▲			
	5-2 各主体による環境保全活動	「エコ活動に取り組んでいる」市民の割合	●	%	82.4	77.2	85	▲		毎月広報誌に「環境NEWS」欄を設け情報発信しているが環境保全への意識向上を図るため更に内容を充実していきたい。環境に関する広報特集記事として「環境標語」を募集し環境啓発を図った。
		環境に関する広報特集記事数	○	件/年	0	1	1	○		
		環境に取り組む個人・団体等の活動等を紹介した広報記事数	○	件/年	9	6	10	▲		
		環境保全に関するNPO法人数	○	団体	2	5	7	○		
		市が主催する、各主体の交流イベント開催数	△	回	2	2	—	→		
		市役所におけるグリーン購入物品数(ボールペン・シャープペン)	△	%	100	100	100	→		
		(ファイル)	△	%	100	100	100	→		
(コピー用紙(白))		△	%	100	100	100	→			

平成25年度は……

環境指標を、①数値が上がったもの、②数値が下がったもの、③基準値維持、④事情により数値なしの4種類に区分けしたところ、下記の結果になりました。

数値が上がった指標は、64項目(41%)となりました。平成24年度に比較して6項目増加しました。

進捗状況	平成24年度		平成25年度		
	項目数	割合	項目数	割合	
① ○	数値が上がった	58 項目	37%	64項目	41%
② ▲	数値が下がった	51 項目	32%	52項目	33%
③ →	基準値維持	36 項目	23%	29項目	18%
④ 空欄	H24数値なし	12 項目	8%	12項目	8%
	合計	157 項目	100%	157項目	100%